

知の集積は始まっています！

菊陽未来フォーラムを開催しました

町では、半導体企業集積地にふさわしい先進的なまちづくりの具体化に向け、大学誘致をはじめとする「知の集積」の取り組みを行っています。菊陽未来フォーラムは、「知の集積」の取り組みの一環として、「菊陽町の未来を拓く『知の集積拠点』と『半導体ミュージアム構想』の意義と方向性」をテーマに、地域の産学金官の関係者が集い意見交換を行いました。

当日は、小牧副町長から知の集積拠点のビジョンおよび半導体ミュージアム構想を紹介したほか、話題提供として熊本県立大学の黒田忠広^{くろだただひろ}理事長から「知の集積拠点と半導体ミュージアムに期待すること」、また、来年4月設置予定の熊本県立大学半導体学部半導体学科の学科長に就任予定の丹羽正昭^{にわまさあき}教授から「欧州における知の集積拠点」、さらに、立命館大学理工学部ロボティクス学科生体工学研究室の岡田志麻^{おかだしま}教授が「半導体活用と知の集積拠点での展開」について講演しました。

その後、ラウンドテーブル形式により、大学・県・くまもと半導体グリーンイノベーション協議会・金融機関・ディベロッパーの代表者が「知の集積に期待す



ラウンドテーブル参加者による集合写真

ること」をテーマに、意見交換を行いました。

特に、ラウンドテーブルを進行した黒田理事長は、「『豊かな未来』と『わくわくする未来』を皆さんに楽しく見せることで新たな価値をつくり、産業をつくり、人を惹きつけ、そして何より重要な人材に投資をし、そのための場所となるキャンパスの整備が必要。半導体という技術を町民につないでいく『知の集積』の取り組みは非常に重要であり、『知の集積』を身近に感じてもらう半導体ミュージアムの取り組みは必要不可欠」と締めくくりました。

産学金官の関係者との連携により、本町の「知の集積」の取り組みの具体化を今後も進めてまいります。



冒頭に挨拶する吉本町長



熊本県立大学 黒田理事長



フォーラムの様子



熊本県立大学 丹羽教授



立命館大学 岡田教授



ラウンドテーブル形式による意見交換

まちの魅力を発信

くまもとキャラクターPR大作戦にキャロッピーが出演しました

5月23日、空港の利用促進と観光PRを目的とした「くまもとキャラクターPR大作戦」が阿蘇くまモン空港そらよかパークで開催され、町のマスコットキャラクターのキャロッピーが出演しました。

PRタイムでは菊陽町とキャロッピーに関する3択クイズを行い、会場は大いに盛り上がりました。

クイズに見事全問正解したくわだそらさん(益城町・5歳)には、にんじんジュースの「うまcarrot」が贈られ、「楽しかった」と笑顔で振り返りました。



左から、キャロッピー、優勝したくわださん

交通安全対策に企業と協力し取り組む

セミコンテクノパーク協議会より交通安全看板を寄贈

5月25日、セミコンテクノパーク協議会から、交通安全看板が寄贈されました。同協議会は、地域の一人として企業活動のみならず、日頃から、地域の交通安全対策に積極的に取り組んでいます。今までの交通安全対策の一環として、贈られるものです。

協議会ではこれまでも、通勤時の「通行禁止道路」や「通り抜け禁止エリア」の設定をはじめ、会員企業が主体となった現場での実態調査を実施するなど、地域住民の生活環境に配慮した取り組みを徹底してきました。新学期には地域ボランティアの皆さんと合同で通学路の見守り活動を実施。児童・生徒の安全確保にも尽力しています。

寄贈式で吉本町長は「地域の生活道路や通学路の安全対策がより強化されるものと期待しており、心から感謝申し上げます。本町においても、道路整備などのハード面と、セミコン通勤バスの拡充といったソフト面の両面から安全対策を加速させてまいります」と謝辞を述べました。

これに対し、堀田祐一協議会会長(JASM(株)取締役社長)は「通勤車両の狭路通り抜けによる危険なエリアがあり、運転者が認知する方法を模索していました。今回の看板設置により、少しでも通り抜け車両が減り、安全な通勤・通学が実現できることを願う」と語



左から、吉本町長、堀田会長(JASM(株)取締役社長)

りました。

今回寄贈された看板は、町内の生活道路や通学路など20カ所に設置します。今後も本町は協議会と一層の連携を図り、安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。



寄贈された看板

地域経済の発展に貢献

藍綬褒章を受章した菊陽町商工会の後藤一喜会長が町長を表敬訪問しました

5月29日、令和8年春の褒章において「藍綬褒章」を受章された菊陽町商工会の後藤一喜会長(入道水)が、受章の報告のため町長を表敬訪問されました。

藍綬褒章とは、各種団体での活動などを通じて、産業の振興、社会福祉の増進などに優れた業績を挙げた人に贈られる日本の栄典のひとつです。

後藤会長は菊陽町商工会の役員として約13年務め上げ、平成30年の会長就任以降、商工会会員と職員の増加や小規模事業者支援の充実に尽力したほか、町民が安心して地元業者へ相談できる「住まいのこころおまかせ隊」の体制を強化しました。さらに、台湾企業との交流や町内事業者の受注機会の拡大にも注力しています。このほか、夏祭り実行委員長として地域イベントの運営にも携わるなど、地域経済と地域コミュニティの発展に大きく貢献しました。

今回の受章を受け、後藤会長は「今回の受章は、ひとえに地域の皆さまの温かいご支援と、共に歩んでく



左から、後藤会長、吉本町長

れた仲間の協力があったからこそです。受章して終わりではなく、今回の受章を励みに、これからも地域経済の活性化と、暮らしやすいまちづくりに微力ながら貢献していきたいと思っております」と話しました。

吉本町長は、「今後とも菊陽町の商工業を力強くけん引してください」と話しました。

団結力を競いあう

小・中学校 運動会・体育大会

5月17日に中学校2校、5月23日に小学校5校が運動会・体育大会を行いました。

照りつく日差しの中、子どもたちの元気な姿が会場を大いに盛り上げました。学年対抗リレーや綱引き、台風の目などの種目に全力で取り組み、白熱した運動会・体育大会を楽しむ子どもたちの姿がありました。



連携して走り抜ける



団結して綱を引く



全力でバトンをつなぐ



接戦のアンカー対決

未来を担う地域のリーダーとして

菊陽町ジュニアリーダー開講式

6月7日、ジュニアリーダー開講式を中央公民館で行いました。今年度は小学生から高校生までの計25人が、さまざまな体験を通してリーダーに必要なスキルを身に付けます。

開講式では、参加者同士の交流を深める活動を行い、和やかな雰囲気新たな一歩を踏み出しました。

参加者の1人は、「初めての参加で緊張したが、アイスブレイクのおかげで緊張がほぐれ、普段より多く発言することができた。今後はイベント補助にも積極的に挑戦したい」と笑顔で話しました。



1年の活躍を誓うジュニアリーダー

町民サービスの向上を目指す

大塚製薬(株)と包括連携協定を締結しました

6月16日、町は、大塚製薬(株)と包括連携協定を締結しました。猛暑の激甚化など、町を取り巻く環境が変化中、町民の健康維持や安心な暮らしの確保は大きな課題です。

本協定により、同社が有する熱中症対策や食育、スポーツ振興、さらには災害対策などの知見やノウハウを連携事業に活かします。互いの資源を有効に活用し、健やかで誰もが安心して暮らせるまちづくりと、町民サービスのさらなる向上に取り組んでまいります。



左から、吉本町長、原支店長

菊陽北小学校で「人権の花」運動

「人権の花」運動による花の種・苗伝達式

5月28日、菊陽北小学校で「人権の花」運動による花の種・苗の伝達式が行われました。

この運動は、伝達された花の種・苗を協力して児童が育てながら、生命の尊さを実感する中で、豊かな心を育てることを目的に実施されるものです。

当日は、菊陽北小学校体育館に、4～6年生の児童、校長先生をはじめとする職員、熊本地方法務局阿蘇大津支局の職員、町の人権擁護委員などが集まり、阿蘇大津人権擁護委員協議会こども人権委員長岩根さんより菊陽北小学校の人権委員会児童代表に花の種・苗などが手渡されました。



花の種・苗などを受け取る人権委員会児童代表



伝達式で挨拶する後藤校長

法務大臣からの感謝状

人権擁護委員法務大臣感謝状贈呈式

村本信幸さん(駅前)に法務大臣から感謝状が贈られました。

これは、令和2年4月から2期(6年)、人権擁護委員として人権相談や人権啓発活動など、長年の功績を讃えて表彰されるものです。

この感謝状贈呈式が、5月29日に町防災センターで行われ、西浦熊本地方法務局阿蘇大津支局長から感謝状が贈呈されました。



村本さん(左)西浦支局長(右)



左から西浦支局長、村本さん、吉本町長、恵濃阿蘇大津人権擁護委員協議会会長

全国からランナーが集結しました

熊本空港マラソンを開催

5月30日、県内外への空港の認知拡大などを目的として第4回熊本空港マラソンが空港周辺4カ町村の協賛で開催され、早朝から約840人のランナーが阿蘇くまもと空港の滑走路を走り抜けました。

マラソンに参加した川原雄士さん(光4町内)は、「朝日を浴びながら滑走路を走る特別なランでした。今から仕事がんばってきます」と額に汗を光らせました。



朝日に向かって走っていくランナーたち

みんなの広場

投稿募集中



皆さんが町民の皆さんに伝えたい情報や、活躍を掲載します。掲載月の2カ月前の月の15日までにご連絡ください。必ず掲載されるわけではありません。

総合政策課 企画政策係

☎096(232)2112

✉kouhou@town.kikuyo.lg.jp

夏休み

ジュニアボウリングスクール

日時 Aコース 7月22日(水)、23日(木)
Bコース 7月29日(水)、30日(木)
Cコース 8月5日(水)、6日(木)
午後4時30分～6時

場所 菊陽ボウル

対象者 小学1年生～高校生

定員 各コース30人(先着順)

費用 各コース2日で千円(貸靴代含む)

申込方法 前日までに電話かFAXで申し込む

申込先 菊池郡市ボウリング協会事務局

菊陽ボウル内 担当 檜崎・井之上

☎096(232)2231 FAX096(232)4868

